

2010-2011 年度 財団奨学金小委員会

委員長 中野 均(堺東)

委員 佐藤 憲成(泉佐野) 檜畑 友洋(和歌山東) 林 俊行(和歌山)

【活動基本方針】

ロータリー財団国際親善奨学生を海外に派遣し、また海外から受け入れ、国際相互理解の推進に寄与できるよう努力する。

財団奨学金の意義をロータリアンに理解して頂けるよう努める。

【活動計画】

■ 海外派遣国際親善奨学生について

- ① 2010-2011 年度国際親善奨学生として7名の派遣を予定しており、指定教育機関に留学できるように奨学生への指導や相談への助言を行なう。
- ② 2011-2012 年度国際親善奨学生については、2009-2010 年度中に募集・選考試験を行った後、合格者へのオリエンテーションを実施し、国際ロータリーの親善使節としての自覚と責務について指導するとともに、指定教育機関への留学に関する諸問題についての対応を指導する。
- ③ 2012-2013 年度の奨学生募集については、『2012-2013 年度 ロータリー財団国際親善奨学生募集ポスター』を 2011 年 2 月頃に当地区内各クラブ等に配布し募集を行い、選考試験問題を作成し、2011 年 5 月中に奨学生選考試験（筆記試験・面接）を実施する。
選考合格人数はDDFと応募状況等を勘案のうえ決定する。
- ④ IM等での会議において、財団奨学金の意義をロータリアンに理解して頂けるよう努める。

■ 海外からの受け入れ国際親善奨学生について

- ① 2009-2010 年度財団国際親善奨学生の受け入れは6名です。（韓国2名、台湾2名、アメリカ、スイス）
- ② 2010-2011 年度の受け入れ国際親善奨学生については、財団本部より指示があれば、受け入れ奨学生の詳細を受け取り次第、対応する。